

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	知的財産論	
科目基礎情報							
科目番号	30AES210		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	専攻科電気電子情報工学専攻		対象学年	専2			
開設期	後期		週時間数	後期:2			
教科書/教材	(教科書) 発明推進協会, 「産業財産権標準テキスト (総合編) 第4版」 / (教科書) 発明推進協会, 「産業財産権標準テキスト (特許編) 第8版」 / (参考図書) 「知っておきたい特許法」, 大蔵省印刷局発行						
担当教員	安倍 逸郎, 丹生 哲治						
到達目標							
(1) 知的財産権の法体系上の位置づけ, その意味を理解できる。(定期試験) (2) 特許制度の概要を知り, 明細書等の作成が模擬的にできる。(定期試験) (3) 実用新制度・商標制度・意匠制度の概要を知る。(定期試験) (4) その他の関連法, 不正競争防止法, 著作権法の概要を知る。(定期試験)							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	知的財産権の法体系上の位置づけ, その意味を十分に理解できる		知的財産権の法体系上の位置づけ, その意味を理解できる		知的財産権の法体系上の位置づけ, その意味を理解できない		
評価項目2	特許制度の概要を十分に知り, 明細書等の作成ができる		特許制度の概要を知り, 明細書等の作成が模擬的にできる		特許制度の概要を知ること, 明細書等の作成ができない		
評価項目3	実用新制度・商標制度・意匠制度の概要を知り, 十分に理解できる		実用新制度・商標制度・意匠制度の概要を知り, 理解できる		実用新制度・商標制度・意匠制度の概要を理解できない		
評価項目4	その他の関連法, 不正競争防止法, 著作権法の概要を知り, 十分に理解できる		その他の関連法, 不正競争防止法, 著作権法の概要を知り, 理解できる		その他の関連法, 不正競争防止法, 著作権法の概要を理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E2) JABEE 1(2)(d)(1)							
教育方法等							
概要	グローバル化された現在の日本では, 企業において技術開発に従事する者に限らず, 何らかの社会活動を行う人々にとって, 知的財産についての知識は必須となっています。特に専攻科性にとっては, 産業財産権法と呼ばれる4法 (特許法, 実用新案法, 意匠法, 商標法) について, これらを自在に駆使できる能力が必要とされています。また, これに加えて著作権, 不正競争防止法など, 実際の企業活動の実務において必須となる法律知識を取得する必要があります。そこで, 産業財産権法, 特に特許法を中心とし, その他の関連法について, 現在の企業活動において必要とされる知識を学びます。さらに, 研究開発に従事する者が要求される実践的能力の会得を目的とし, 単なる教科書的知識ではなく, より実践的な知識, スキルの修得を目指します。						
授業の進め方・方法	教科書に基づいて行うが, 適宜, 配布資料を準備する。達成目標の(1)~(4)について, 定期試験で評価する。総合評価が60点以上を合格とする。再試験は行わない。						
注意点	インターネットなどで知財に関する記事をチェックし, 関心を持つこと。						
評価							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	知的財産権とは	知的の概要乃至外延, 知財の位置づけについて理解できる。			
		2週	特許法1	発明と特許について理解できる。			
		3週	特許法2	特許情報の調査について理解できる。			
		4週	特許法3	出願書類の書き方について理解できる。			
		5週	特許法4	出願から登録までについて理解できる。			
		6週	特許法5	外国での特許取得について理解できる。			
		7週	実用新案法	実用新案法の概要について理解できる。			
		8週	特許情報の調査	特許調査の実習により, 内容を理解できる。			
	4thQ	9週	明細書の作成	明細書及び図面の作成実習により, 内容を理解できる。			
		10週	特許請求の範囲の作成	特許請求の範囲の作成実習と検討により, 内容を理解できる。			
		11週	意匠法	意匠法の概要について理解できる。			
		12週	商標法1	商標制度の目的, 保護対象について理解できる。			
		13週	商標法2	商標登録出願の他続, 商標権の効力について理解できる。			
		14週	著作権と不正競争防止法	著作物とは何か, 不正強制防止法の概要について理解できる。			
		15週	後期期末試験				
		16週	後期期末試験の解答と解説	分からなかった部分を把握し理解できる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0

專門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0